活発な市民組織づくり

あなたがつくる民主的な市政

連合會への動きも
防犯、振興、親睦をめざす

社会の機構が複雑となるにつれて、一人での生活はむづかしくなつてくる。こうした社会生活の必然性から、地域の人達がお互いにたすけあいながら地域社会の向上や親睦を目的とした『市民組織』が、市民の自主的な力によつて結成されてきました。留萌市内でも最近とくにこの結成への動きが活発で、〃青少年の不良化防止や共同防犯のねらいも含めて、全市的な市民組織を作つて欲しい〃との意見もあります。すでに全国各市では全市的な組織化によつて非常に効果をあげています。

こうした新しい重要な役割をもつ市民組織が、自主的にどう進められているか調べましたところ、二十四団体がすでに結成され、結成準備中のものは五カ所あります。

中でも住之江町、泉町、花園町地域では、個別の組織団体だけでは活動にも限度がある、もつと広い地域の人々とも手を結ぶ必要があると、独自の連合会を組織しようとの動きもみえています。大部分の地域は結成の必要を痛感しながらも、そのキッカケがつかめないでいる場合が多く、この音頭を市で進めて欲しいとの声も、この調査であらわれていました。

しかし、この調査は本年三月に、市内六十一地区の民生委員を通じ、担当区内にあるものを報告していただいたものですが、報告あつたものは四十三地区で、調査もれや、その後結成されたものがあると思います。このほか一部代表者のわからないものもありましたので、該当の団体は市民課市民係へご連絡下さい。

現在広報紙、新聞、ラジオなどで行われている市のお知らせなどは、必らずしも市民の末端まで行きわたつているとは思われませんが、今後こうした組織団体のあるところは、つとめて組織団体を通じて行い、市民のみなさんが、座つていながらにして市政を知ることができるようにしたいと考えています。

なお市民組織としては、一応納税組合とか街灯組合、農、漁業実行組合、商店会などのように限られた仕事のみをもつ組織団体もあります。もちろんこの名前でも地域全般の自治振興を進めているものは市民組織として入れました。

既存団体（カッコ内は代表者名、会員数）

▲南町新興会（川上博 一三三）、▲五十嵐町親交会（松本武平 九二）、▲住之江町新交会（渡辺正 四二）、▲東光会（山本文理 四〇）、▲元町親和会（小松秀一 四〇）、▲開進会（国崎広隆 六〇）、▲新生会（山本真行 一八）▲沖友会（田口正司 二〇）、▲千鳥町親睦会（細田辰男 一三〇）、▲樽真布部落会（一五〇）、▲東光親交会（一五〇）、▲如月会（一 二三）、▲睦会（一 三四）▲親善会（大山源治 三八）、▲峠下部落会（一七八）、▲大和田町々内会（一 四〇）、▲春日町新生会（三上五三郎 一〇〇）、▲南山手通会（尾立源七 三三）▲西四丁目振興会（高嶋金吾 一）

街灯を中心としたもの

▲錦町二丁目会（谷儀助 一八）、▲錦町三丁目親交会（仁科進 二〇）、▲灯栄会（矢野慶治 一二）、▲寿美よし会（ 一〇）、▲寿幸会（斎藤道忠 一）

市民組織めぐり
沖友会
手をにぎり明るい生活へ
その日より雪野に誕生

〃チユウユウカイ〃と呼ぶ沖友会は、沖見町の専売公社裏に建つ市営住宅二十戸で結成されている。公務員あり、会社員、労働者と職業はさまざまだが、一体となつてなごやかな会を運営、地域の振興をめざしている。

『その日より雪野のはてに　姉妹星』といたまれた、幼ない姉妹を昭和三十年二月の猛吹雪に、道路を見失つて雪野原に亡くしてから、これではいけないと二十戸が集つて、昭和三十年二月発足した。

「街灯の光があれば、猛吹雪でも、雪野原に消えた姉妹を家に無事帰らすことができたのではないか…」こうして会発足後まず手がけたのが、自費で街灯を設置したことだつた。二十戸の会員にしては相当な負担だつたが、大人でも道を見失う高台の猛吹雪に、二度とかわいい子供達を連れ去られたくはなかつたのである。

その後付近には住宅が次第に建てられたが、いまではこの街灯が付近一帯をも明るくし非常に大きな役割をはたしている。

畑の中に建てられたこの住宅地には、道路らしい道路もない。早速市に対して直接地域住民の声として整備を要望するとともに、現在ある道路を『自分達の手で歩るきやすい道路に』と年二回整備することも忘れない。排水溝の整備も会の年中行事の一つ。他の住宅地前の道路、排水溝でも、嫌な顔をせず、黙々と続けている。

正月は住宅地の中央にたてられた国旗を前にそろつて新年のあいさつ。葬儀、送別などには会から支出、虚礼廃止の新生活運動を進め、常会は各家庭を順にまわつて開催、一人一人が会を運営している。

会員の親睦にも力を入れ夏の海遊び、秋の山遊びには全員が参加、年中レクリエーションを催しているが全て月百二十円の会費でまかなわれている。

明年は会が誕生してから満五年目を迎える。会員が皆で相談した結果、会の目的を生かすため、なにかためになる記念事業を行いたいと、セッセト積立金をしている。

役員
会長　田口正司
副会長　種田隆年

次回は五十嵐町親交会を予定しています。

写真は三角点展望台での楽しい家族リクリエーション

■市民組織の動きを

市内各地で結成されているあなたの市民組織の動きをお知らせ下さい。例会のこと、総会のこと役員の改選や色々な催しなど、どんなことでも結構です。毎号紙面で紹介したいと思います。

市民課市民係へ

いまはこうした悩みがあるが

1. 地域住民の共通問題をどう市政に反映させたらよいか、その方法がわからない。
2. 市の行つていることや、お知らせがよくわからないで非常に不便である
3. 地区の世話人がその任務によつて違い、その数も多いため煩雑で無駄が多い。
   例—民生委員、選挙資格調査委員統計調査員など。
4. 地区担当の世話人が誰れなのか、住民が知らない場合が多く、市民と密接な行政が進められない危険がある
   例—民生委員が誰れかわからぬため、せつかくの制度も、地域住民の相談相手となれないこともある
5. 地区、さらには郷土愛護の考えが薄れてしまう。

市民組織ができるとこうなる

1. 市民組織を通して、地域住民の声として市民の声を市政に反映でき、市民のより一層の福祉増進がはかられる。
2. 市の行つていることや、お知らせなどが会を通して全部の住民に徹底、広報紙の配布なども全戸もれなく行われ、これによつて今後は家庭の中に座つていながらにして市政を知ることができる。
   —ガラスばりの市政—
3. 地域がある程度画一的に決められるため、各世話人によつて違う担当区域が調整されるほか、重複した調査などがある程度避けられ、無駄やわずらわしさがなくなる。
4. 地区担当の世話人は、その決められた範囲内の地域住民の中から選ばれるなど、住民と密接な行政となる。
5. 道路の補修や施設の充実防疫などに、地域のみんなが相談し、協力して行われ、私達のまちは私達の手でという郷土愛の思想がつちかわれる。
6. 防犯、青少年不良防止運動などが、全地域で進められ、犯罪のない明るいまち作りが達成される。
7. 地域ごとの会を通じて、民主々義、地方自治の精神が養われ、民主的な市政を実現することになる。
8. 近隣との親睦融和がはかられる。

留萌市勢回顧表（十三回）

年号 明治 ／ 年 ／ 史実

二八
○戸長　磯松平太郎
○戸数　四百六十八戸　人口二、一七六人
○二月　留萌小学校に二カ年の高等科併置認可
○四月　公立三泊簡易小学校、公立三泊尋常小学校と改称し修業年限三年となる。
○九月　法国寺（本山増上寺、浄土原宗）三泊村字シネカムリ百六十二番地に寺号公称
○十一月　工事完了、開拃事務所閉鎖する。
○鰊漁獲高二万五千百十八石（十五万四千八百円）
○農二十八戸、工七人、商十一人、漁五十戸雑二十一戸、合計八十二戸。
○運搬用馬百十頭
○天塩医師会設立される。会員留萌長尾甲斉村田戎造、三泊王子一貫、増毛二、力昼一羽幌二、天売一、鬼鹿二、苫前二、焼尻一
○御料局札幌支庁留萌出張所を増毛出張所と改称、増毛町に事務所を置く。
○七月　後志国小樽郡港町二十五番地北海道鉱山株式会社取締役支配人倉島弥平から小平蘂沖内間、臼谷折真布間、優別折真布間道路測量並びに川浚いを増毛郡長に出願。

二九
○戸長　磯松平太郎
○戸数　四百三十七戸　人口二、〇四九人
○十月　留萌小学校高等科を三カ年に延長。
○第九議会に北海道鉄道敷設法上程可決。雨竜原野から増毛に至る四十哩、第二期線に予定される。後深川留萌間を第一期線に繰上げる。
○公立病院設置のため留萌村三十六番地にあつた市有建物木造平家一棟三十六坪五合、代価十一円で払下げを得て設置しようと計画し長官原得太郎に願書提出したが設立に至らず。
○火消組組織基礎固まる（組員三十七名、器具竜吐水二台、初代組頭菅原直次郎）

三〇
○四月　増毛税務署開庁
○五月　増毛警察署留萌分署設置
○八月　井上伯留萌町視察のため来町
○十一月　公立礼受尋常小学校修業年限を四カ年に延長。
○アワビ輸採区設定その寸法を制限して成長をはかる。
○三泊小学校修業年限四カ年に変更。
○明治十九年一月三県制を廃して新に北海道庁が設置されるに至つたため、増毛郡役所は増毛支庁となる。
○収入予算の部
戸数割　九百四十一円四十一銭
漁業割　二千六百九十八円八十銭
鰊百石につき　九円五十銭
鮭　〃　十円五十七銭
鱒百石につき　十円五十七銭
鱒釣漁船一隻につき　三円（四十隻）
昆布一人につき　十五銭（百五十六人）
○鰊漁獲高　二万三千七百六十七石（二十一万三千九百円）

•入選標語•
よい本が書棚に光るよい家庭
読書週間　10月27日から

明るい生活

病気ほど私たち市民の明るい生活を、むしばむものはありせん。一家の生計を背負う父親の病気になつたとき、あるいはかわいゝ子供が病気にかゝつたときの心配と重くるしい家庭の空気を味わつたことが、一度は経験されたことがあるのではないでしようか。

最近日本人の生命が急激にのびたのも、医療施設の充実、近代化が大きくあずかつているといわれます。結核が不治の病いといわれたのも昔のこと、いまは医薬の進歩と医療施設の充実によつて、死亡率がぐんと減つています。

こうした点から、留萌市では、二つの国保病院と二つの診療所を市内に設置、留萌市ばかりでなく、留萌地方の医療センターとして、施設の完備と近代医学の導入に力を入れています。

新しい効力のよい薬を使うのも、近代的な施設を整備するのも、健康で明るい市民生活をめざし、営利を度外視した公営企業であつて、はじめてできることです。

そこでこの機会に最近留萌市で入れた新しい医療機械の主なものをご紹介したいと思います。

着々と近代化を急ぐ
留萌地方の醫療センターとして

医学の進歩は最近めざましいものがあります。留萌市では二つの国保病院を持つていますが、市ばかりでなく、留萌地方の医療センターとしてどのような施設をしているのでしょうか。
出題者　留萌市幸町　斉藤恭子さん（主婦、二十九才）

保育器

これは月たらずで誕生しました早産児、未熟児を育てる機械です。

この機械のある西病院は留萌地方では唯一の未熟児保育センターに指定されておりますが、産室まで持ち込まれ、あいている時がないくらい活用されています。

保育器は抵抗力の弱い赤ちゃんのため紫外線殺菌灯をつけて無菌にし、その中で温度、湿度の調節をしながら、授乳や汚物の交換をはじめ診断、体重をはかることができます。

とくにこのため乾湿度計、酸素ボンベ、酸素流入測定計、吊下式体重計などが完備した非常に便利なものです。

購入価格　十三万七千五百円

写真は保育器

低周波治療器

神経痛、リユウマチなどといつたら、なおりにくい病気の一つに数えられていますが、この治療器が留萌市にあるといつたら耳あたらしいことと思います。

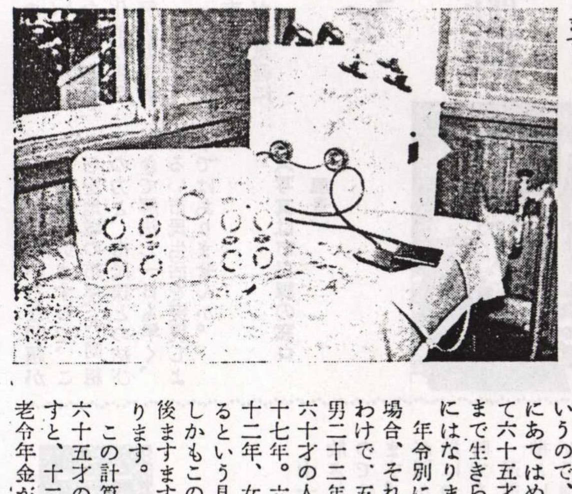
とくにこの機械は、大病院用として設計されたもので、非常に応用範囲が広いことも特色の一つです。

一例をあげますと、筋のあらゆる運動障害とい（萎）縮、小児まひ、中風、顔面神経まひ、分娩まひなどいろいろのまひの治療。関節炎による関節の運動障害、リユウマチ、外傷による関節障害、骨折および手術後の障害など。

神経痛、肩こう、腰痛、ねんざ、疲労。ね小便、夜尿症）のほか水虫、わきがなどの治療、さらに、緊急の場合など鉄の肺にかわるものとして人工呼吸にも使われます。

どんな場合でも安全に完全な治療ができるように付属設置が完備されています。

購入価格九万八千五百円



写真は低周波治療器

オージオメーター

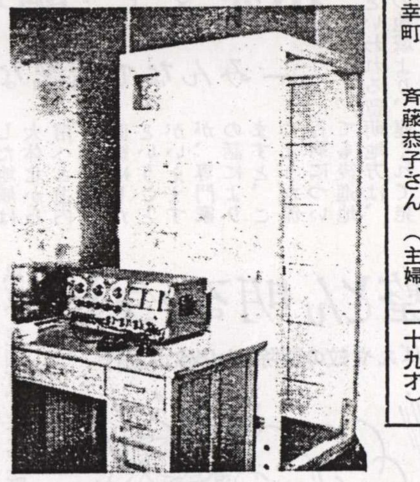
聴力精密検査測定器と検査室を一緒に持つ高性能のものです。

つい最近まではお医者さんが患者の耳に口をあけたり、少しはなれた所で静かな音がきこえるかどうかという原始的な方法だつたのは、みなさんがよく経験されたことではないでしょうか。

ところが、この機械では検査室に患者を入れ、手前の機械で科学的に精密な耳の病気を診断するほか、この検査によつて老化現象の早期発見などに威力をみせる、管内唯一の最高設備です。

購入金額
オージオメーター　二十四万円
聴力検査室　十二万五千円

写真はオージオメーター



このほか、光電比色計、X線写真廻転陽極装置、胎児吸計遂娩器なども新たに購入され、それぞれ威力をあげています。

國民年金問答

国民の平均寿命からみて実際にもらう期間が少ないように思うが……

日本人の平均寿命は年々のびて三十三年には男六十五才、女六十九、四才となつています。

しかしこの寿命は、赤ちやんが何年生きられるかという赤ちやんの平均余命をいうので、いま四十才の人にあてはめた場合、平均して六十五才あるいは七十才まで生きられるということにはなりません。

年令別に平均余命をみた場合、それ以上生きられるわけで、五十才の人は今後男二十二年、女二十五年。六十才の人は男十五年、女十七年。六十五才の人は男十二年、女十四年生きられるという具合になります。しかもこの平均余命は、今後ますますのびる傾向にあります。

この計算でゆきますと、六十五才の人を例にとりますと、十二年から十四年間老令年金が受けられるみとおしです。

民間の生命保険より有利か……

国民年金は、民間の生命保険などと比らべて、死んだときには年金をもらえないので損だと思う人もあるかも知れません。

これは、生命保険というと。死んだら保険金がもらえると考えられてしまつているだけに、国民年金についても、死んだらもらえるのかという間違つた考え方がすぐにでてくるからです

国民年金はいうまでもなく、老後の生活保障としての終身年金であることは、もちろんのこと、身体障害や、生計中心者の死亡に対しても必要な所得の保障を行うものですから、その本質は全く社会保障のねらいにかなつているわけです。

したがつて国民年金と民間の生命保険とは性質が違いますから、比較はできないわけですが、掛け金と受けとる額の大小を比較してみましよう。

保険料を同額として、六十五才から終身年金を払うものとした場合、国民年金の年金額は民間の養老保険にくらべて二倍以上ももらえるという数字がでてきます。

民間の終身年金保険についても、ほぼ同じ結果となります。また、郵便年金の据置年金とくらべても国民年金は、郵便年金にくらべ同一の掛け金に対して約一・六倍の給付を行つているという数字がでてくるようです。

つまり、これは国民年金の保険料の半分を国庫負担するのに対し、民間保険では保険料で事務費や営業費まで、まかなわなければならないためです。

しかも、国民年金はこれだけでなく、将来万が一のインフレとか国民生活水準の向上に対して年金額の引上げが行なわれます。

國民年金で明るい老後を
一日から届出を受付け
拠出制國民年金スタート

いよいよ一日から「拠出制国民年金」の資格届出を市役所で受付けております。保険料をかけるのは来年四月からですが、現在職場の厚生年金や共済組合にはいつていない二十才以上の人は、もれなく届出をしなければならないと法で決められています。不安のない明るい老後の生活をおくるための国民年金に手ちがいなく加入するよう届出をすませて下さい。

「あの人は恩給があるから……」などとよくいわれます。

私たちの周囲には、会社や役所に勤めて、退職後は恩給や年金を受けて生活している人をよくみかけます。ところが農業、漁業、零細な営業やそこの労働者などはこうした年金の制度がなく忘れられた存在となつていました。

そこで出来たのが、今度の国民年金制度で、一定の保険料を健康なうちに掛け続け、老後や身体障害者となつたときに生活の保障をされるようにしたのが、拠出制国民年金です。

【必らず届出をしなければならぬ人】

明治四十四年四月一日から昭和十六年四月一日（明年四月一日現在で二十才以上五十才の人）までに生まれた人で、恩給や厚生年金共済組合等の制度に加入していない人。

これには通信教育、定時制の学校生徒で共済組合などの制度に加入していない人も含まれます。

【任意に加入する人も届出を】

①明年四月一日現在で二十才以上五十才までの人で恩給、厚生年金、各共済組合等の制度に加入している者の配偶者。
②右の年令の人で昼の学生生徒。
③遺族年金、留守家族または特別手当の受給者。
④明治三十九年四月一日から明治四十四年三月三十一日までに生まれた人（五十才以上五十五才未満）

■届出はこうして

届出は十月一日から市役所保険課年金係で受付けていますが、届出は
①主として世帯主とする。
②印鑑をお持ち下さい。
③藤山、幌糠、峠下に住んでいる人は幌糠支所で手続をして下さい。

なお、係では一応該当者にはがきで通知しておりますが、手違いではがきの届かない人でも届出を早く済ませるよう係では望んでいます。

こずゑちゃん愛の空輸
小児マヒ患者をヘリで

先月の十六日、留萌小学校のグラウンドから、小児まひ患者がヘリコプターで旭川へ空輸されました。

これは留萌市国保西病院に入院していた増毛町別刈公務員村上健吉さんの長女こずえちやん（一年十カ月）で、十六日病状が悪化したため道北地方では唯一つの旭川日赤病院の鉄の肺に入れることになつたものです。

連絡を受けた、新設間もない留萌市の保険課は、さつそく陸上自衛隊に連絡、ヘリコプターを出してくれるよう要請するとともに、旭川日赤病院にも入院手続きを電話ですませるなど、めんどうな事務手続きより人の命が大事と、適切な処理をしました。

これには陸上自衛隊の心よい協力もあつて、母親の手にだかれたこずえちやんと、つきそいの八田国保西病院医師の三人を乗せたヘリコプターは、午後一時三十分頃留萌小学校グラウンドにつめかけた、関係者や市民の暖かい、まなざしを受けながら、一路旭川へ飛び、三十分後には無事旭川に到着、鉄の肺に運ばれました。

なおその後こずゑちやんは、愛の鉄の肺入りもむなしく死亡しました。

写真はヘリコプターで運ばれる、こずゑちやん